

三重県立聾学校 キャリア教育マトリックス

2016/12/15

能力領域	観点	幼稚園	小学部(低学年)	小学部(高学年)	中学部	高等部	高等部専攻科	
	重点課題	豊かな心情・意欲的な態度を身につける	自ら学ぶための基礎力・関わりつながらり合力を身につける	見通しをもつ力・やりぬき力を身につける	社会の中で自らの進路を切り拓く力を身につける			
【Ⅰ】人間関係・社会形成能力	(他) 他者の個性を理解する力	□(1)友達と仲良く遊ぶ。	□(1) 相手の思いにも気づいて理解しようとする。	□(1)友達の良いところを認め、助まし合う。	□(1)他者の個性を尊重し、人間関係を円滑に進めようとする。	□(1)他者の思いを受け止め、自分との相違点を調整して、理解し、コミュニケーションできる。		
	(チ) チームワーク・リーダーシップ	□(1)友達との活動を通して、共通の目的を見出したり、工夫、協力したりする。	□(1)友達と協力し、助け合うことができる。	□(1) 教え合ったり励まし合ったりしながら、仲間と協力し、学習意欲に取り組み。	□(1)リーダーとフォロワーの立場を理解し、チームを組んで互いに支え合い活動する。	□(1)就労体験などを通して、様々な協働・協力場面を体験し、その意義を理解し、実践する姿勢を養う。		
	(マ) 基本的なマナー	□(1) 親しみを持って、日常の挨拶をする。	□(1)身近な人に正しく挨拶や応答する。	□(1)挨拶や正しい応答の仕方についての基本的な生活習慣を確立する。	□(1)TPDに応じた挨拶や応答の仕方について知り、実践する。	□(1)社会人としてのTPDに応じた言葉遣い、マナーについて知り、身につける。 □(2) 対面の人に対して、自分からきちんと挨拶や自己紹介ができる。		
	(規) 規範意識	□(1)きまりの大切さに気づき、守ろうとする。	□(1)きまりを守って、遊んだり集団生活を通うことができる。	□(1)遊びや集団生活を通して、きまりを守ることの大切さを知る。	□(1)校則を守り、校則の改正についても考える。	□(1)自己の良心と社会人としての規範やルールにしたがって行動する。	□(2) 成人として認められる権利と新たな義務や責任を理解する。	
	(公) 公共心	□(1) みんなで使うものを大切にする。	□(1)学校で共同で使用する物や場所を丁寧に扱う。	□(1)社会の中にある公共物を大切にす。	□(1)社会全体のために「私」を我慢して振る舞う。	□(1)「私」と「公」とを区別し、社会人としてあるべき行動をとる。		
	(常) 社会人としての常識	□(1)日常生活における基本的な生活習慣を身につける。	□(1)身近な公共施設等、社会を支えている人の存在を認識する。	□(1) 能率的判断から感情的判断に転換して、物事を判断することができる。	□(1)社会の一人としての参加には義務と責任が伴うことを理解する。	□(1)社会生活の中で自分の立場を認識し、社会人としての価値観を周囲と共有できる。 □(2) 公の基準に合わせて判断することができる。		
	(コ) コミュニケーションスキル・日本語力	□(1)手話表現を伴いながら、音声を活用し、会話を楽しむことができる。 □(2) 助詞を定動詞しながら、手話を日本語に、日本語を手話に言い換えることができる。	□(1)学習したことを音声をつけて手話で表現する。 □(2) 助詞の活用、形容詞・形容動詞を学び、活用する。場面に応じて活用する。	□(1) 考えたことを順序立てて、音声と手話で表現する。 □(2) 新聞の採り方、授業文、使役文、尊敬語を学び、場面に応じて活用する。	□(1)TPDに応じて敬語や丁寧な用いた文章表現をする。 □(2)友達と目上の人への対応を区別する。	□(1)手紙文、挨拶文、履歴書等に用いる文章力・実践力を身につける。 □(2) 相手の考えを他者に正しく伝えることができる。 □(3) わからない時は、自分から質問して内容の確認ができる。	□(4) 専門用語を含めた表現を理解し、発信する文章力・実践力を身につける。	
【Ⅱ】自己理解・自己管理能力	(真) 自己の役割の理解・責任感	□(1)集団の中で自分の役割をやりとげようとする。	□(1)自分に割り当てられた仕事や役割の重要性を理解し、作業や準備や後片付けをしっかりとる。	□(1) 自分の長所や短所に気づき、自分らしさをしっかりと表現できる。 □(2) 奥学年集団にも進んで参加し、役割と責任を果たす。	□(1) 自分の長所や短所を理解している。 □(2) 学校行事等で、自己の責任や役割について理解し、行動することができる。	□(1) 自己の能力、適性、個性について理解し、課せられた役割を果たそうとする。 □(2) 幼稚園・小学部・中学部の集団に対して、役割と責任をもち行動ができる。 □(3) 成人として社会で求められる役割を認識し、その責務を果たそうとする。 □(4) 最上級生として、下級生の手本となる役割を認識し、相応の行動ができる。		
	(前) 前向きに考える力	□(1)「やってみよう」「がんばってみよう」という姿勢をもつ。	□(1)様々なことに挑戦し、粘り強く取り組む姿勢を育む。	□(1)体験的な活動を通して、「やればできる」という自信と自己肯定感を持つ。	□(1)集団活動を通じて、自己肯定感と自己有用感を持つ。	□(1)自己肯定感の下、自己実現に向けて諦めるとなく取り組む。		
	(学) 生涯学習力	□(1)文字や数に興味・関心をもつ。	□(1) 基礎学力を身につける。 □(2) 家庭学習に取り組む姿勢を身につける。	□(1)基礎学力を身につけ、日常生活に活用する。 □(2) 家庭学習の習慣化を確立する。	□(1) 小学校6年生までの国語・算数の知識・理解がある。	□(1)社会生活に必要な知識・技能を身につけると共に、卒業後も自律して学習できる。 □(2) 算学検定3級以上、基本的な四則計算、単位換算、割合、高さの道のり等の問題ができる。	□(3) 社会生活に必要な専門的な知識・技能を身につけると共に、卒業後も自律して学習できる。	
	(体) 体力・健康管理	□(1)身体を動かすことを楽しみ、様々な運動に挑戦する。	□(1)自転車や水泳など平衡感覚を伴う基本的な運動動作を習得する。	□(1)様々な運動に取り組むと共に、病気になるための工夫や方法を知る。	□(1)運動能力の向上を図ると共に、身体の変化について正しく知る。	□(1)体力の維持や健康管理に留意した生活ができる。		
	(制) 自制心・ストレスマネジメント	□(1) 友達と仲良く過ごすために、我慢しようとする。 □(2) ごまかしたことを家教師や先生に相談できる。	□(1)生活の中で、がまんして自分の気持ちを調整できる。	□(1)集団行動の中で自己規制ができる。	□(1)周囲の状況に応じて、自らの行動を調整することができる。 □(2) 自分の悩みを身近な人に相談できる。	□(1) 課題を克服するための手段や考え方を探り、自己の感情をコントロールする。		
	(主) 主体的行動	□(1)自分でできることは自分でする。	□(1)自分のことは、自分でするという姿勢を身につける。	□(1)仲間の中で、自分らしさを発揮しながら行動する。	□(1)学校行事等に主体的に参加することができる。	□(1)自己を肯定的に捉え、将来に向けて主体的に行動する。 □(2) 自分がよりよく成長していくために、自分から工夫を取り組むことができる。		
	(聴) 聴覚管理	□(1)人工内耳や補聴器を装着し、音声を聴覚する。 □(2) 音の聞き分けのスキルを身につける。	□(1)人工内耳・補聴器を正しく装着する。	□(1)人工内耳・補聴器、聞こえの不調を伝えることができる。	□(1)人工内耳・補聴器の管理方法について理解する。 □(2) 日常の聴覚の状態を認識・把握する。 □(3) 自分の聞こえについて他人に説明できる。	□(1)人工内耳・補聴器・聴覚について、維持・管理が自立的にできる。 □(2) 自分の聞こえについて他人に説明し、具体的な配慮を求めることができる。		
【Ⅲ】課題対応能力	(情) 情報の理解・選択・処理	□(1) 先生や友達の間を聞き取り、指示にしたがって行動する。	□(1)周囲の状況にそって行動する。	□(1)周囲の状況を把握して、自ら行動にうつす。 □(2) 先生や友達の間を聞き取り、指示にしたがって行動する。	□(1) 情報の真偽を見極め、自分にとって必要な情報を取捨選択することができる。	□(1) 様々な方法での情報収集と外部の知識も受け入れながら、創造的な解決を図る。 □(2) 他者の考え等を的確に理解できる。		
	(課) 課題発見力	□(1) 諸活動を通して、物事の変化や性質を見出す。	□(1) 教科学習の中で、物事のきまりや性質を見出す。	□(1) 教科学習の中で、法則や性質を見出し、分析する。 □(2) 自ら課題を見つけ、それを達成する喜びを知る。	□(1) よりよい生活や学習、進路や生き方等を目指して自ら課題を見出し、いくこと大切と理解する。	□(1)問題や課題を発見し、分析、整理できる。		
	(計) 計画立案	□(1) 家庭やクラスのイベントについて、計画に調わりとうとする。	□(1)友達と行事を楽しむ計画する。	□(1) 目的を達成するため、短期的な計画を立てる。	□(1) 目的を達成するための手立てを考えながら、中・長期的な計画を立てる。	□(1) PDCAサイクルを理解し、適切な計画を立案できる。		
	(行) 実行力	□(1)興味あるものに対して、楽しみながら取り組もうとする。 □(2) 届かぬお手紙いせきちんとやりきろうとする。	□(1)計画した取組に意欲的に参加する。	□(1)学校行事などに意欲的に参加し、目標に向かって努力する。	□(1)学校行事等に積極的に取り組み、主体的に取り組もうとする。	□(1) 諸活動に積極的に参加し、協働によって、課題を克服できる。		
(評) 評価・改善	□(1)感動したことを伝え合う楽しさ味わう。 □(2) うまくいかない事柄について、「どうしてかな」と考えることができる。	□(1)失敗した理由がわかる。 □(2) 自分が取り組んだことへの評価・反省ができる。	□(1) 原因が起きた時、原因を調べ、解決しようとする。 □(2) 自分が取り組んだことへの評価・反省ができる。	□(1) 原因が起きた時、原因を調べ、課題を発見し、解決のための工夫をする。	□(1) 原因が起きた時、原因を調べ、課題を発見し、解決のための方法や適切な手段を選択する。 □(2) 自分に足りない力を理解し、補うために努力する。			
【Ⅳ】キャリアプランニング能力	(役) 役割把握・認識能力	□(1)手伝いなどを通じて、人の役に立ち喜びを知る。	□(1) クラスの係活動などを通じて、人の役に立ち喜びを知る。 □(2) 家族の役割に興味をもち、まわがける。	□(1)自分の役割や責任を果たし、人の役に立ち喜びを実感する。	□(1) 自ら成すべしことを考え、学習活動や奉仕活動等に積極的に参加する。	□(1)変化する世の中にも対応できる自分づくりを主体的に行う必要性を理解する。 □(2) 社会人として求められる役割を認識する。		
	(計) 計画実行能力	□(1) あてをもつて生活する姿勢を身につける。	□(1) 計画や予定を立てて、取り組むことの大切さを知る。	□(1) 壁れどする課題を持ち、そのために今しなければならぬことを考える。 □(2) おこづかいを貯めて、自分で買物ができる。	□(1) 将来設計を達成するための困難を理解し、それを克服するために努力する。	□(1) 希望の進路を達成するための進路をたてて、それにしたがって実践する。		
	(探) 情報収集・探求能力	□(1)身の回りの環境や事象に関心をもち、さらに知ろうとする。 □(2) 家教師についての質問に答えることができる。	□(1)身近で働く人々について、興味・関心をもち、本などで調べることができる。	□(1) 身近な産業や職業について、自分に必要な情報を探す。	□(1) 進路選択のための高等学校・高等部の教育内容やその後の進路について情報を収集・探求する。	□(1) 就労体験・職場見学・就職説明・オープンキャンパスなどにより情報収集し、活用する。 □(2) 障がいへの配慮に関して、使えるサービスを知っている。		
	(職) 職業理解能力	□(1) 自分のなりた職業について調べる。	□(1)身近で働く人々の様子がわかり、興味・関心をもつ。	□(1) 身近な産業や職業について理解する。	□(1) 職場体験を通じて、勤務の意義や働く人々の様々な思いがわかる。	□(1) 地域の経済や産業の状況について知り、自らの能力・適性を踏まえて、職業について考える。		
(選) 選択能力	□(1)自分の希望するものを選択できる。	□(1)自分の好きなもの、大切なものをもち、選択できる。	□(1) 自分の希望するものを理由を明確にもって選択できる。	□(1) 選択を迷う場面でも、自分に折り合いを付けて選択できる。	□(1) 働く意義を理解し、自らの適性と諸条件を考慮した上で進路選択・決定する。	□(2) 自らの専門性を活かすことのできる進路先について、その実現のための進路を理解し、それに沿って選択・決定する。		

○キャリア教育マトリックスは、それぞれの発達段階の中で身につけておきたい能力や態度について、基礎的・汎用的能力の4つの能力領域ごとに書き出したものです。
○赤字は、「キャリア発達段階」の成果。その発達段階の半数以上の幼児・児童・生徒にとって課題となっていると思われるものです。
○未到達の項目の中で、特に重点的に取り組むべき課題を設定し、日々の教育活動の中で(個別の指導計画に盛り込み)指導を計画的に進めていきます。